

シロシヤクジョウ	<i>Burmannia cryptopetala</i> Makino	絶滅危惧 I 類
		ヒナノシヤクジョウ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数はごく僅か。	写真(奥田浩之)
形態の特徴	葉緑体がなく、全体が白色の菌従属栄養性草本。茎は高さ5-10cm。葉は鱗片状、長さ3-4mm、幅1-2mm。花柄は長さ約0.5cmあり、花は茎の先に散形状か総状につく。花筒に翼が出る。	
生態的特徴	林内のやや暗い場所に生える。花期は8-10月。	
分布状況	中部以西の本州、四国、九州、沖縄にあり、中国の海南島にも分布する。岐阜県では美濃地方の中部に見られる。	
減少要因	開発や森林伐採などによる生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘